

介護サービスの充実・介護職場の処遇改善等を図るための地域医療介護総合確保基金(ハード分)の拡充について

奈良県における取組と課題

【取組】

1. 訪問看護ステーションの規模拡大によるサービス提供体制と人材の確保・育成体制の強化

本県においては、常勤換算5人未満の事業所が約2/3を占め、サービスの安定供給、職員の負担軽減、人材育成機会の確保等について課題を抱える事業所が多い。

このことから、基金(ソフト分)を活用しノウハウ研修会の開催等を行うとともに、基金(ハード分のメニューである開設準備支援事業)を活用し規模拡大に必要な備品購入経費等の補助制度を創設し支援。

2. 職員の負担軽減・処遇改善、利用者の処遇向上に繋がる取組推進

①介護職場におけるICTの活用の推進

介護職場においては、ICT活用が進んでいないことから、事務効率化・省力化のため、第一段階として、基金(ソフト分)を活用し、職員の理解促進と機運醸成のための研修会を実施。

②介護施設等における省エネ対策の推進

介護施設では要介護者の体調管理等のため光熱費負担が大きいことから、省エネ対策を推進し、軽減したコストを処遇改善や処遇向上のための経費に充当することを目指し、先進事例勉強会を開催。

③施設管理者に対する施設内保育所設置の働きかけ

子育て世代の人材確保のために、設置促進に向けて、経営者等と意見交換を実施。

【課題】

左記の取組により介護サービスの充実・介護職場の処遇改善を図るための機運醸成等が図られているが、施設や設備の整備等に要する経費の確保に苦慮し取組が進まない状況。

国にお願いすること

地域医療介護総合確保基金(ハード分)が活用できるように、次の改善をお願いしたい。

(1) 下記メニューの追加

1. 訪問看護ステーションの規模拡大のための経費を支援するメニュー

〈具体的なメニュー項目〉

- ・ 事務所の建替えや改築の経費
- ・ 事務所の移転のための経費（事業を継続しながらの事業所の移転は多大な経費が必要） 等

2. ICT化や省エネの推進のための経費を支援するメニュー

〈具体的なメニュー項目〉

- ・ ICT化のための機器・設備の設置経費
- ・ 省エネ化のための二重ガラス、省エネシートの設置経費 等

(2) 施設内保育所の設置促進のための整備手法に応じた単価設定

〈具体的な改善内容〉

- ・ 増改築による保育所設置の場合などは、基金の基準単価11,300千円を大幅に上回る整備費が必要であることから整備手法に応じた単価設定

参考 企業主導型保育事業(内閣府) 77,070千円